

令和3年 日野川におけるアユ解禁日の状況について

令和3年6月3日
鳥取県栽培漁業センター

6月1日(火)に日野川において、解禁日のアユの釣れ具合等を調査しましたので、その結果をお知らせします。

下流域の米子市周辺、中流域の伯耆町(岸本友釣り専用区)で釣果聞き取りを行ったところ、釣られたもののほとんどが全長20cm前後の大型アユでした。釣り人からも「解禁日に大型のアユばかり釣れる年は珍しい」との、驚きの声が聞かれました。

県内河川では平成26年頃から、長らく天然アユの遡上数が激減していました。しかし、今年は日野川において3月中旬から5月下旬にかけて、まとまった数の遡上が確認されるなど、少しずつではありますが、天然アユ復調の兆しが見えてきています。

夏の本格的なアユ釣りシーズンに向けて、好釣果が続くことを期待しています。

表1 令和3年6月1日の日野川3地区におけるアユの釣れ具合

地区	時刻	釣り人数	聞き取り人数	アユの全長	最高釣果
米子市十日市	15:00	7人	2人	12~20cm	8尾
伯耆町吉長 (岸本友釣り専用区)	13:50	28人	15人	7~23cm	18尾
日南町生山※ (生山友釣り専用区)	-	-	-	12~19cm	40尾

※日南町の釣果は日野川水系漁業協同組合日南町支部へ電話聞き取りしたもの。



図1 岸本友釣り専用区の様子



図2 釣られたアユ(全長約20cm)

参考 県内の他の河川の聞き取り状況

千代川:天然アユの遡上は少ないが、放流種苗の定着がよく、鳥取市用瀬町、八東川(八東地区友釣り専用区)などでは、よく釣れている。

天神川:天然アユが昨年より多く確認されたほか、放流種苗の定着もよく、三朝町本泉、倉吉市上井の今津堰堤、三徳川(三朝町横手)などでは、よく釣れている。